

第四十四話 美濃加茂健康ファミリー



さあ、みんなで「いただきます」

健司「ねえねえ、お父さん、アリヤ虫たちは朝から忙しく動きまわっているけど、どうしてなの？」
加寿夫「それはね、みんな食べ物を求めて活動しているんだよ」
茂子「人間も毎日生きていくために、食べ物を食べて必要な栄養をとっているでしょ」
康子「虫たちも、みんな食べ物を集めて、分け合っ

美男「わしらも、いつも家族みんなで食事ができたから、どんなにおいしいだろうね」
濃代「今日は、みんなで料理を作って、一緒にいただきますをしようね」
健司「ところでお母さん、今夜のごはんはなに？」
*楽しい食卓に
食べ物の中身や栄養素のバランスのことを考えるのも大切ですが、食卓は「心」育ての場でもあります。
栄養のバランスがいくらかよくても、1人で食べるのは寂しいものです。また、食べているときに怒ったり、「食べなさい」と命令言葉がやたらと多いと少しも楽しくありません。
「笑う」と健康によいことは、科学的にも明らかになっています。食卓にも笑いがあると食もいっそう進みます。
みんなで食べるとおいしくて楽しいのが、食卓です。時にはみんなで一緒に食事を作るのもいいものです。

だえん

「子育て」の大切さ
現在は、バブルがはじけた平成の大不況のまっただ中。さらに、模範になるべき大人が子どもを犠牲にする事件を起こしたり、青少年の非行問題も次から次へと表面化しています。
どうも、世間が暗いような感じがしますが、ここだけは違うところがあります。どこだと思えますか？
そう、保育園や幼稚園の中で。子どもの世界に不況なんて関係ないのです。
明るい顔に大きな笑い声、庭を思いっきり飛び回る子どもの姿を見ていて思わずはっとしました。大人の世界とは、明らかに違うのです。
世の中のことばかりではなく、苦しいときも、悲しいときもあり。それを乗り越える力を、子どもの笑顔から与えてもらえるような気がしました。子どもの笑顔が、現在の社会を救うのかもしれない。
しかし、あの天真らんまんだった子どもが成長して大人になると、笑顔の消えた大人になることもあるようです。
たぶんその責任は、子育てを

してきた親にあるのではないだろうか。そのことに気づいていない人も多くみられます。
大人のいるいろいろな都合で、自由にとつとつするわが子を知らないうちにねじ曲げていたりしませんか？
勉強第一で、人間らしい思いやりの心を奪ってはいませんか？
困っている人を見て、知らないふりをして通り過ぎてしまふような子どもに育てていませんか？
子どもの欲しいものをなんでも与えて、自分で努力することができない子どもにはしていませんか？
きつとみなさん、思いあたることもあると思います。
はたしてこのままでいいのでしょうか？
そこで提案です。子どもの将来にとつとつ、何が一番大切なのか、どんな大人になることが子どもにとつとつ本当に幸せなのか、子どもを育てている両親でじっくり考え、話し合ってみたらどうでしょうか？
幼児から小学校1年生までの「子育て」って、とても大切です。中学生や高校生になってから「しまった。あの時にちゃんと「子育て」やっておけば良かった」と思わないためにせよ。もう一度、自分の子育てへのこだわりをそれぞれ考えてみましょう。

ひんやん 言わせて

楽しかったあい愛バス

先日、はじめて「あい愛バス」に乗りました。3歳の娘と夏前から「涼しくなったらあい愛バスに乗ってどっか行こうね・・・！」と約束していたので、娘も大喜び！

1歳の息子も「パッパッ」と片言をしゃべりながら、バスの停留所まで、一生懸命歩いて・・・

バスが近づいてくるのが見えると、2人とも「オーイ！」と呼んで、大騒ぎ。でも、いざ乗ると、キョロキョロ、ソワソワ・・・一言もしゃべらず・・・

でも、降りるときに運転手さんに、笑顔で「バイバイ！」と言って手を振ってもらえると、バスが行ってしまつまで、「バイバイ！ありがとう」、「パッパッ！」と手を振っていた2人でした。とつとつでも、楽しい

ひとときでした。
ほんとうに、ありがとうございませぬ。
(太田町 Iさん)

予防接種について

インフルエンザの予防接種について、65歳以上は自己負担1000円でできるのなら、子どもも同様に補助していただきたいと思いました。
体力がないという点では、インフルエンザにかかって重い症状になったり、命にかかわったりする危険は同じだと思います。
それに、2回接種すると高額だし、子どもが何人もいると10万円の負担になるので、心配しながらも接種しない人がたくさんいます。

ご意見ありがとうございます。任意で受ける予防接種の料金は高いので、保護者の負担は大きいですね。多くの人がそう感じていると思います。お気持ちはよくわかります。

学校週5日制について
学校が、今年から、週5日制になると話題になっていますが、現場に立つ先生は、どう思われているのでしょうか？

さて、今回ご意見をいただいたインフルエンザの予防接種についてですが、市では今年度より、予防接種法一部改正に伴い、「高齢者インフルエンザ予防接種事業」を実施しています。
しかし、乳幼児については、法律上、その対象となっていないため、残念ながら実施していません。
高齢者が対象となったのは、近年、高齢者のインフルエンザに伴う死亡(高齢者はインフルエンザ死亡者の割合が高く、平成10年冬季は85・5パーセントを占めました)や重症化が増加し社会問題化しているからです。
乳幼児については、従来どおりご本人と医療機関との契約による任意接種でお願いします。

あなたの身近な話題やうれしかったこと、腹がたったこと、「広報みのかも」を読んだ感想や、特集として取り上げてほしい内容など、気軽に電話やはがき、ファックスまたは電子メールでお寄せください。(広報紙上は匿名で掲載しますが、住所・氏名・電話番号は必ず、お知らせください)あなたの声をお待ちしています。
〒505-8606 美濃加茂市企画部総合政策課広報係
でんわ 0574・25・2111(内線239・241)
FAX 0574・28・1290
電子メール kouhou@city.minokamo.gifu.jp

学力低下を目のあたりにしながら、どうしようとしているのか？
親の立場としては、正直な気持ちを聞いてみたいです。
(古井町 Sさん)